



1月園だより

令和8年1月5日

目黒区立田道保育園園長

新年あけましておめでとうございます。

4月当初、保育士に抱っこされ過ごしていた0歳児クラスの子どもたちも廊下で引き車を引っ張って園内探索を楽しんでいます。1、2歳児クラスの子どもたちは「じぶんで」と主張し、身の回り事が少しずつできるようになり、表現力が豊かになり、ままごと遊びでは友達とのやり取りも上手になってきました。3歳児クラスは初めて保護者から離れて参加する運動会、発表会を経験することでひと回りもふた回りも大きくなりました。4歳児クラスは散歩先で拾ってきたどんぐりなどの木の実や落ち葉、芋ほり遠足で集めたさつま芋のツルを使ってクリスマスリースを作りました。一人ひとり思い思いのイメージでデコレーションをして素敵なリースができました。5歳児クラスは田植えから収穫を体験し脱穀、もみすりをして米にしました。目の前でガラスの鍋で炊いてもらい玄米と白米の2色のご飯を、「おいしいね」と食べる姿が見られました。また藁でしめ縄を作りました。2人一組になり、支える、ねじると役割分担をして作り上げていました。米になる工程を知り、育て上げる達成感を味わったことと思います。リースもしめ縄も自分だけの作品となりました。

子どもたちは昨年度、保育園生活を充実して過ごし成長につながる1年になったと感じとれました。

今年もスタートしました。どんな年になるのでしょうか。子どもたちが「保育園が楽しい」とワクワクが止まらない保育園を目指します。職員一同、子どもたちの願いと保護者の方の子育てへの思いをたくさん受け止めながら保育を進めていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年おめでとう会
でんどうランド
(お店やさんごっこ)
身体測定・避難訓練



クラス懇談会予定

0歳児クラス
2歳児クラス
1歳児クラス
3歳児クラス
4歳児クラス



乳児お楽しみ会がありました

乳児クラスがホールに集まり「乳児お楽しみ会」を行いました。飾り付けられたホールとステージに「なにかおもしろいことがはじまるのかな」と子どもたちは少し緊張しながらも、期待している様子が伝わってきました。音楽に合わせてモップ犬の操り人形が登場すると、「わーあ」と子どもたちの嬉しそうな歓声が上がりました。ハンドベルの演奏や絵本でも親しんでいる「だるまさんが」や「3匹のやぎのからがらどん」の人形劇やペープサートが次々に始まると、歌に合わせて手を叩きながら体を揺らしたり、指を差したりしてリラックスして楽しんでいました。乳児クラスでは一番大きい2歳児クラスのらっこ組が舞台前に呼ばれると、はにかみながら登場し、あわてんぼうのサンタクロースの歌を歌ってくれました。当日はお楽しみ給食もあり、とても楽しい一日を過ごすことが出来ました。





室内遊びの様子（幼児クラス）

『 友達の輪が広がって 』 3歳児クラス（ぺんぎん組）

メモリーカードやカルタを楽しんでいるぺんぎん組。保育士を誘い、どちらが多くカードを取れるのか勝負しています。同じカードがどこにあるのかをよく覚えていて、カードをめくり同じ絵柄が出ると得意気になって笑顔を見せる姿がとても可愛いです。次々に取っていくので、保育士はなかなか勝てません。子どもたちの記憶力には驚かされています。保育士も一緒に楽しむことも多いのですが、最近は友達を誘って子どもたちだけで楽しむ姿も出てきました。誰が多く取れるのかを真剣に勝負しています。最後にカードの枚数をみんなで数え、勝っても負けても「もう一回やろう」と繰り返し楽しんでいます。まわりに他の友達も集まってきて輪が広がっていきます。保育士が入らなくても友達同士、同じ遊びをしたい子が集まり遊ぶ姿が増えているぺんぎん組です。



『 作る・考える・楽しむ 』 4歳児クラス（いるか組）

ブロックではアニメのキャラクターを作って遊んでいます。作っていた子の近くで見ていた友達が「僕も作りたい」と声を掛けると「見せてあげるね」と返事をしながら一緒に真似をして作ったり、色違いのブロックで作り、夢中になって遊ぶ子どもたちの姿が見られます。作ったキャラクターを「これは水タイプだよ」「じゃあ電気タイプが強いね」と想像を膨らませながら、友達と一緒に戦わせ遊んでいます。また他の子がブロックでバスを作ってそこに沢山の作った赤ちゃんを乗せて走らせて遊んだり、同じ素材でも一人ひとりの思いがそれぞれの形となっています。これからも自分のイメージを表現する楽しさや、友達と作り上げる遊びを大切にしていきたいと思います。

『 今日はどんなコースを作ろう 』 5歳児クラス（くじら組）

積木で恐竜の家やタワーを作るのが上手な子どもたち。最近はスカリーでコースを作ってビー玉を転がして楽しんでいます。ある日のこと、様々な形のパーツを使いコースを作り「なんで止まっちゃうだよ。うまくいかないな」と何度もパーツを組み替えてビー玉を転がしている子がいました。まわりで遊んでいた友達が「これ、ここが高くなってないからじゃない」「滑り台みたいにするといいよ」と積木を持ってきてくれました。積木で高低差を付けると、すごいスピードでビー玉が転がります。「すごい、じゃあ今度はこっちに置いてみたらどうなるんだろう」「最後はこうしてみよう」とアイデアがどんどん出てきて気付けば友達の輪が広がり、長いコースが出来ています。友達と考えて話し合いながら、楽しんでいる遊びの一つです。

